



2021年7月5日

「ハンドルの重みは命の重み」を発行

交通遺児とその親の思いを綴った小冊子「ハンドルの重みは命の重み」を発行しました。

この小冊子は、交通事故で父か母が、あるいは父母がともに亡くなったり、重度の障がいを負うなどの被害を受けた家庭に残された子供と親たちが、自らの体験とそこから得た思いを伝えようと、当会の「高校奨学生と保護者のつどい」や多くのドライバーさんが働く運送会社の社員研修会、そのドライバーを目指す方々が聴講する自動車教習所の講習会等で行った無料出張講演のスピーチの中から、いくつかを選んでご紹介するものです。

交通事故による死者数は減少傾向にあるとはいえ、今高校に進学しようとする子供たちが誕生したころの交通事故死者数は年6千人、負傷者数は年百万人を超えていました。そのような背景から、まだまだ子供の修学支援を必要とする交通事故被害家庭は多いのではないかと考えています。

私たち交通遺児育英会は、そのような子供たちや保護者のみなさんの苦労や頑張りを皆様に知っていただき、より一層交通安全に取り組んでいただきたいとの思いから本冊子の発刊に至りました。平成29年に第一集「父の思い出を乗り越えて」を発行して、大変交通安全の啓蒙にお役立ていただけてきましたが、今回は第二集となります。

本冊子を読んでいただくことで、少しでも皆様の交通事故、交通事故被害家庭についてのご理解を深めていただければ幸いです。

公益財団法人 交通遺児育英会
会長 菅谷 定彦

「ハンドルの重みは命の重み」は当会のホームページ上で公開しています。また、希望される方には無料で配布いたしますので、必要部数をご連絡ください（A5判）。

<本件に関するお問い合わせ先>

総務課 久田 匡之 Tel: 080-4957-4603 E-mail: ikuei@kotsuiji.com